

普段から目に付くところに貼っておこう

避難カード

この避難カードは、自身と家族の命を守るために避難行動や連絡先などをまとめておくものです。

地震や津波発生時の避難行動を事前に検討し、自分自身の避難カードを作成してみましょう。

分散避難 安全が確認できる場合は、**在宅避難、親戚・知人宅避難**も避難の方法の1つです。

地震発生

『緊急地震速報（テレビ・スマートフォン・防災行政無線など）』

※震源地が近い場合、緊急地震速報よりも早く揺れが起こることがあります。



『揺れがおさまってから行動する』

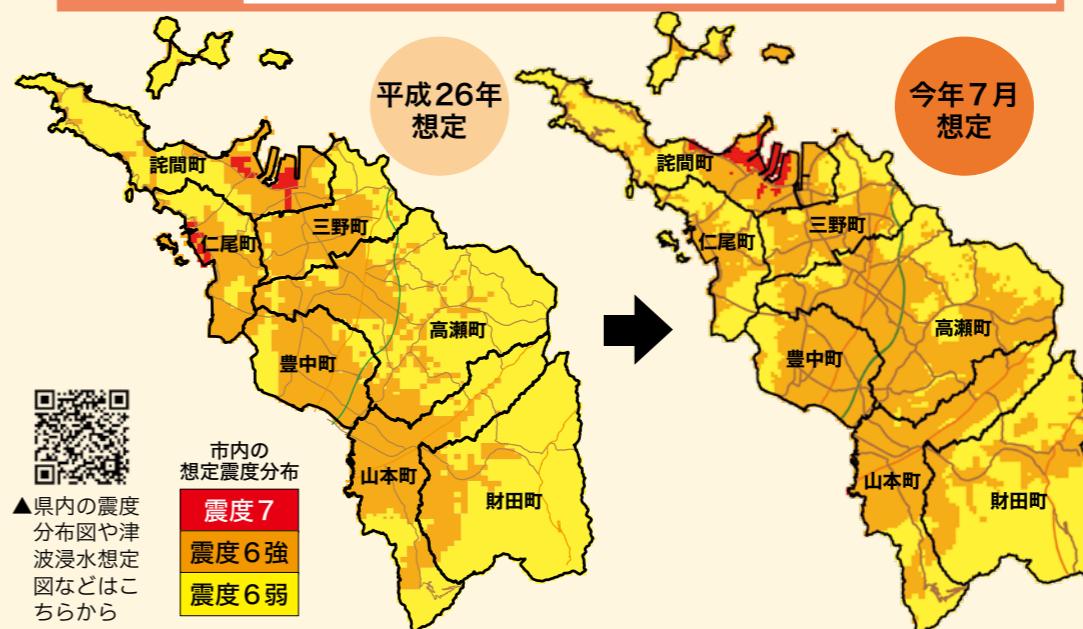
- ガスの元栓を閉める
 - 電気のブレーカーを切る
 - 避難経路の確保
 - 家族の安否確認
 - 情報収集



南海トラフ地震は、
「今後30年以内に発生する確率が高い」

香川県が新たに県内の地震・津波被害想定を見直し、平成26年の想定より、震度6強の地域が増え、死者数なども増加しました。

市内の新たな被害想定(最大クラス) 死者: **880**人 負傷者: **2,600**人 **全倒壊数: 6,600**棟



今できること

普段から、自宅や職場の近くにある避難場所と避難所を地図で確認したり、家族と一緒に集合場所や連絡方法を話し合ったりすることが大切です。

今一度、避難行動を見直し、災害時に備えて自分自身の『避難カード』を作成してみましょう。3～4ページのカードに記入して、目に付くところで保管しましょう。

「避難」とは、「難」を「避」けることで、安全な場所にいる人まで、避難場所や避難所などに避難する必要はありません。

安全な地域に住んでいて、自分で安全が確保できる人は、住み慣れた自宅で生活を続ける「在宅避難」も選択肢の一つです。



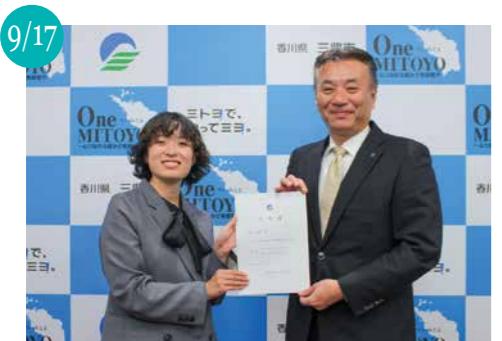
▼問い合わせ 危機管理課 (3) 73・3119



Yuka Fukui

岡山県新庄村出身。岡山県内の大学で地域マネジメントを専攻し、地域課題の解決やまちづくりについて学ぶ。IT企業に就職し、東京で官公庁のシステム運用・保守業務に携わる。

移住後は、瀬戸内ならではの穏やかな海岸沿いをドライブすることに夢中。



▲任命式で山下市長から「まずは三豊市を好きになってもらいたい、広く自由に発信してほしい」と期待の言葉が贈られました



▲移住フェアで三豊市の魅力を紹介してきました

移住促進や地域の活性化を目的に、移住希望者への情報発信や移住サポートに取り組む移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）として、9月16日から新たに福井柚香さんが着任しています。市の魅力や地域での暮らしの雰囲気を発信し、移住希望者と地域を結ぶ存在となつて、

安心して移住できる環境づくりをめざします。また、地元に住む人たちが改めて地域の魅力を感じ、さらに愛着を深めてもらえるような取り組みを進めていきます。

三豊市には、学生時代に旅行で来たことがあります。自然を身近に感じながら、生活するには不便のない“程よい田

地域おこし協力隊に 福井 柚香さん

“程よい田舎感”に魅せられて

三豊市は人がやさしく
活気がある

舍感“がいいなと思ったと話す福井さん。改めて就任への思いを聞きました。

情報発信を通じて
移住・定住者のサポートを
行なうことを目指す。このサイトでは、移住希望者が気になる投稿に反応することで、自治体から直接その移住希望者へアプローチをかけることができます。現在は、市の魅力が伝わるイベント情報の投稿が少ないと感じているので、各分野と連携しながら、さまざまな情報を発信していくけれどと考えています。

自身も一移住者として、身近に感じられる存在となり、地域の皆さんと協力して、移住者や移住希望者のサポートをしていきたいです。

10/18 まんのう町
三豊市
瀬戸内
みとよ
10/27 まんのう町
三豊市
瀬戸内
みとよ
▲移住者の皆さんに、困りごとや挑戦したいことなどのヒアリングを行っています

▶問い合わせ 地域戦略課 ☎73-3011

ワンポイント 自宅で被災した場合、学校や職場で被災した場合など、さまざまな状況で考えてみよう

津波なし



『余震に注意しながら 周辺の安全確認』

※隣近所への声かけ、
けが人や行方不明者が
いないかを確認。

『自宅で生活できるか確認』

生活できる 生活できない

在宅避難

親戚・知人宅

指定避難所

津波あり



『余震と津波の到達時間に 注意しながら一時避難』

非常用持出袋

一時避難

緊急避難場所
一時避難場所

『津波警報解除後、水が引いたら 自宅で生活できるか確認』

生活できる 生活できない

在宅避難

親戚・知人宅

指定避難所